

平成21年度 再評価委員会

路線名：一般国道444号
(福富鹿島道路)

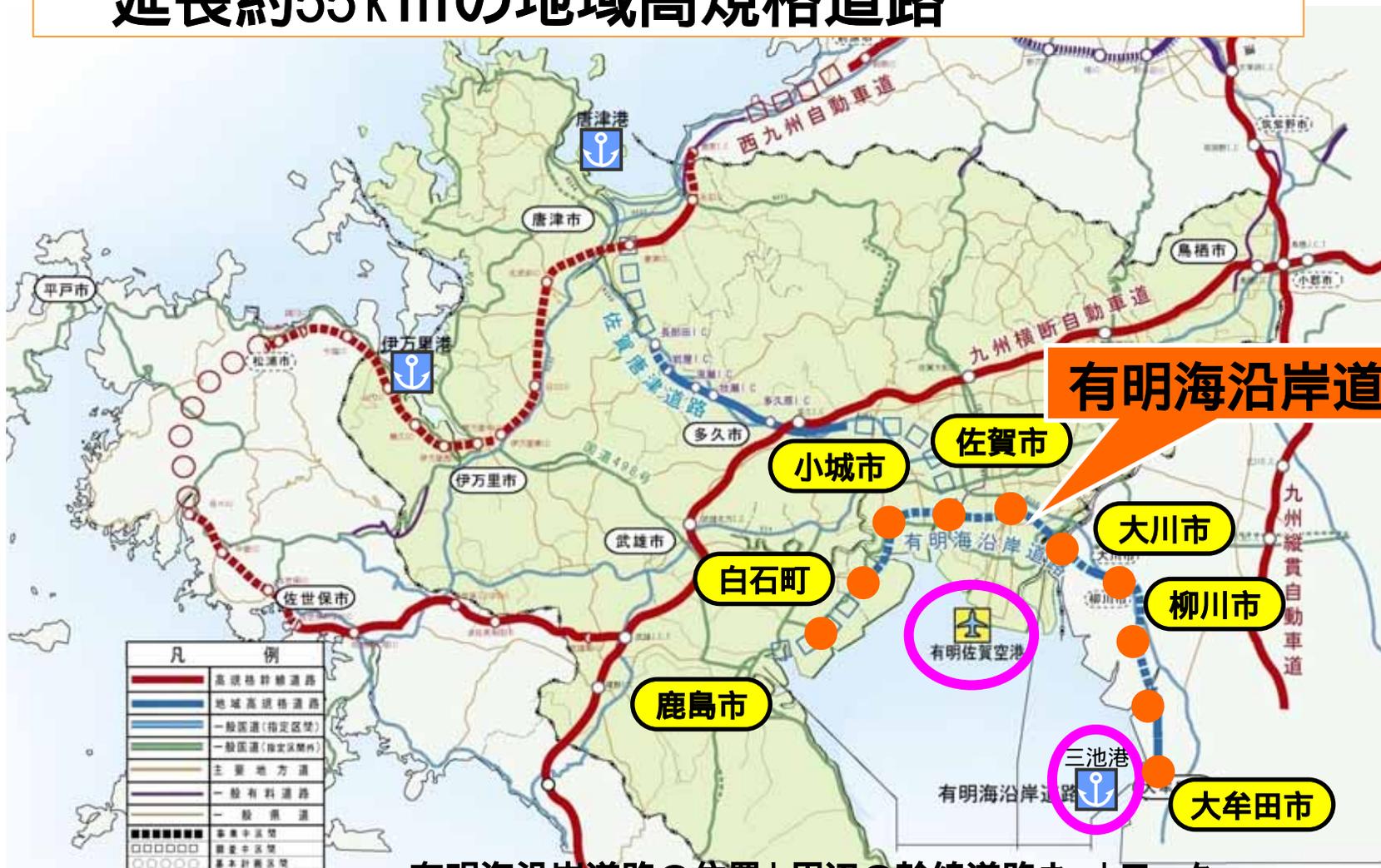
事業名：道路改良事業

事業地：白石町

(準備・計画段階で5年が経過)

有明海沿岸道路の概要

福岡県大牟田市と佐賀県鹿島市を結ぶ
延長約55kmの地域高規格道路



有明海沿岸道路

有明海沿岸道路の位置と周辺の幹線道路ネットワーク

事業目的

地域間の交流支援

国道444号のバイパス機能

地域間の交流支援

有明海沿岸道路の整備により、
大牟田市～鹿島市が

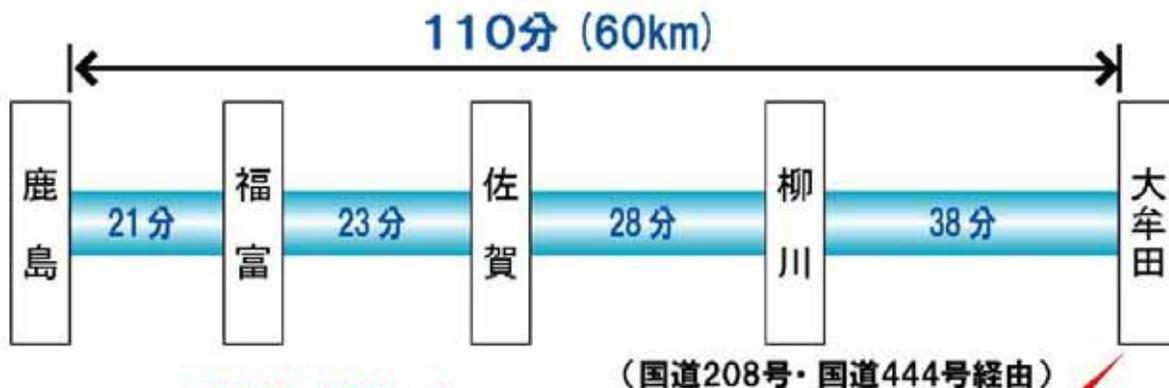
現在:110分 → 将来:42分

約1時間
も短縮!

(推計値)

地域間の交流支援
に大きく寄与!

現況



将来



(推計値)

(有明海沿岸道路経由)

沿線主要都市圏の所要時間変化



約1時間
短縮

国道444号渋滞状況

JR長崎本線附近

国道207号から望む



事業概要

- 全体計画延長：L = 3,600 m
(暫定2車整備)
事業費：約187億円
工期：平成17年度～平成35年度(予定)
事業内容：改良工 L = 3,600 m
橋梁工 N = 2基
用地補償 1式

	平成20 年度まで	平成21 年度	平成22 年度以降
事業費(億円)	1.7	0.4	184.9
進捗率(%)	0.9	1.1	100
用地進捗率(%)	0	0	100

有明海沿岸道路



環境影響評価法の手続き 準備書作成中

事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 交通量が増加傾向にある。
白石町遠ノ江(国道444号)
H 9交通量 9,083台/日
H11交通量 9,003台/日
H17交通量 10,180台/日
- H18年度に隣接工区の佐賀福富道路に工事着手。
- H20年度に福岡県の大牟田市から大川市までが開通。
- H24年度に新県立病院が開院予定。

費用対効果の要因の変化

環境アセスメントを実施する中で、ルートを絞り込んだ現時点で概算設計したところ、軟弱地盤層が厚く地盤改良費が増加したこともあり、費用対効果算出における総費用が増大した。

H17	H21
C=85億円	C=134.3億円
B / C=3.7	B / C=2.3

コスト縮減や代替案等の可能性

(コスト縮減)

- 本工区は、全線軟弱地盤上に構築することとなるため、地盤特性を的確に把握し効率的な軟弱地盤対策工法を選定しコスト縮減を図る。
- 他工事で発生する残土を本工事の盛土等に流用し、コスト縮減を図る。

(代替案の検討)

- ・特に無し

今後の事業の進め方

- 現在行っている環境影響評価の手続きを完了し、用地買収及び工事に着手する。
- 環境影響評価の手続きに平行して、地元説明及び関係機関との調整を実施し、工事着手後の円滑な事業進捗を図る。

対応方針(事業課案)

- ・ 本工区は、有明海北部沿岸地域の都市と重要港湾三池港や有明佐賀空港といった交通拠点との連携を強化する交流促進型道路である有明海沿岸道路の一部であり、当初から事業の必要性・重要性は変わっていない。
- ・ 費用対効果の高さや、円滑な交通の確保による地域経済の発展等を勘案し、引き続き事業を継続することとしたい。